

国語科（国語表現）学習指導案

日 時：平成 29 年 11 月 2 日 第 6 校時
場 所：松陽高校普通科 2 年 1 組教室
（男子 7 人 女子 9 人 計 16 人）
科 目：国語表現（2 単位）
授業者：岡留 幸恵

- 1 単元名 小論文に強くなる！～説得力のある小論文を書くには
- 2 教材名 「2 小論文・レポート入門（レッスン 3 資料を読み取って書く）」
（大修館書店「国語表現」）

3 生徒の実態と単元設定の理由

本校では 2 学年時に文科・理科・英語・体育・書道の各コースを選択する。国語表現は文科コースで開講されている授業である。1 学期は文章を書くための基本的な事項（表記・係り受け・文末表現・書き言葉・接続表現など）を学び、また絵や写真を見てその内容を相手に説明することにより、情報を整理して相手に伝える学習に取り組んだ。2 学期からは小論文の学習に取り組んでいるが、理解した内容や自分の考えを、的確にかつ論理的に相手に伝えることを苦手としている様子が見られる。資料の要約を通して構成を意識させ、さらに自分で構成メモを作成して小論文を書くことにより、筋道を立てて自分の考えを述べる力を身につけさせることを目的とし、本単元を設定した。

4 育成を目指す言語能力

話題や題材に応じて情報を収集し、分析して、自分の考えをまとめたり深めたりすること。（国語表現 指導事項ア）

5 単元の目標

- ア 資料を的確に読み取り、それに対する自分の意見を小論文にまとめようとしている。（関心・意欲・態度）
- イ 資料を的確に読み取り、それに対する自分の意見を小論文にまとめることができる。（書く能力）
- ウ 書くことに必要な文章の組み立てや語句の使い方について理解する。（知識・理解）

6 単元の評価規準

関心・意欲・態度	書く能力	知識・理解
自分の意見を論述することに関心を持ち、効果的に伝えようとしている。	①資料を的確に読み取って要約を書いている。 ②明確な根拠を示して、説得力のある小論文を書いている。	書くことに必要な文章の組み立てや語句の使い方について理解を深めている。

7 取り上げる言語活動

資料を的確に読み取って要約し、それに対する自分の意見を根拠とともにまとめる。
(国語表現 言語活動例ア)

8 単元の指導計画 (全7時間)

時	過程	学習活動	単元の評価規準	評価方法
1	導 入	1 本単元の目標について理解する。		
		2 教科書の資料(山口仲美『日本語の歴史』)を読んで、要旨をつかむ。		
2		1 資料を要約する。 2 賛成/反対の理由を列挙する。 3 筆者の考えに対する自分の意見を根拠とともにまとめる。	書く能力①	行動の観察 記述の点検
3		1 小論文を書くための構成メモを作成する。 2 構成メモに従って、400字の小論文を書く。	書く能力②	記述の点検
4	展	1 教科書の資料(森岡正博『無痛文明』)を読む。 2 200字程度に要約する。 3 社会の無痛化に関する具体的な事例を考える。	書く能力①	記述の点検
5	開 ②	1 社会の無痛化に賛成/反対の理由を列挙する。 2 反論を想定し、五段落構成での構成メモを作成する。 3 明確な根拠を示して自分の意見を述べているか確認する。	書く能力②	行動の観察 記述の点検
6 ・ 7	ま と め	1 構成メモに従って、600字の小論文を書く。 2 書き上げた小論文を相互評価する。	知識・理解 関心・意欲・ 態度	記述の分析

9 本時の実際（5 / 7）

(1) 本時の目標

資料を参考に、社会の無痛化について自分の意見をまとめよう。

(2) 本時の評価規準

社会の無痛化について、明確な根拠を示して自分の意見を述べている。

(書く能力②)

(3) 本時の展開

過程	時間	主な学習活動	指導上の留意点	評価方法
導入	5	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの学習を振り返り、本時の目標と流れを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の流れについて見通しを持たせる。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">「社会の無痛化について自分の意見をまとめよう。」</div>				
展開	20	<ul style="list-style-type: none"> 社会の無痛化に賛成／反対の理由をそれぞれ考えて付箋紙に書き出す。 個人で考えた理由を、班で発表する。 班で考えた理由を、全体で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な角度から理由を考えるよう指示する。 付箋紙を貼りながら発表する際に、類似する理由をグループ分けするよう指示する。 意見の多かった理由や、興味深い理由について各班で振り返らせる。 各班説明役をひとり残し、班を再構成させる。 他の班の説明を聞いて、その内容を自分の班に報告させる。 自分の班にない意見や興味深い意見をメモさせる。 	行動の観察
	15	<ul style="list-style-type: none"> 反論を想定した五段落構成の構成メモを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 班活動を通して、自分の意見(立場)について再度考えさせる。 班活動を参考に、各自で構成メモを作成させる。 対立する意見を想定し、それを打ち消すような説得力のある意見となっているか考えさせる。 	記述の点検
終末	5	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> 五段落構成の構成メモができているか確認させる。 自分が体験したことや見聞したことが意見の根拠となることを確認させる。 	